**＜AGUブログからの情報＞**

**２０１４．８．４**

（<http://blogs.agu.org/landslideblog/2014/08/04/sunkoshi-landslide-2/>）

・天然ダムの高さは、最大で45m、最小で25m、土曜日の遅く越流が始まった。上流の湛水位はゆっくりと下がっている。

・Tribhuvan 大学のNarendra Raj Khanalによると、この地すべりは昨年から兆候が見られた。Googleの写真にも兆候がでている。

・天然ダムは、上流側にも大きな影響を与える。Arniko　Highwayが水没して通行できなくなっており、そして多くの川沿いの土地などが水没している。

**２０１４．８．７**

（<http://blogs.agu.org/landslideblog/2014/08/07/bhote-kosi-landslide-3/>）

・SunkoshiはローカルではBhote　Kosiとよんでいる。

・地震計の観測結果から、地すべりは8月2日の02:36:44に発生したものと思われる。

・天然ダムは現在落ちついているように見えるが、急激に大きな流入があると決壊する可能性がある。

・天然ダムの堆積勾配が緩いので、侵食は進んでいない。これは、パキスタンのAttabadの天然ダム注１）と似ている。従って、水位を下げるには、大規模な掘削作業を注意深く行う必要がある。

・ネパールは、天然ダムの長期に亘る監視、中国への道路の復旧に向け、大きな課題を負った形だ。

　注１）2010.1にパキスタン北部に地すべりにより形成された天然ダム。

　　　　高さ：120m、湛水池延長：21km、貯水量：410＊10６m３

上流側の住民約6,000人が避難していると共に、重要な物流ルートであるカラコルムHighwayが19kmにわたり水没して物流に大きな影響が出ている。パキスタン政府は、爆破も含め水位を下げるための対策を試みたがうまくいかず。現在もそのまま決壊していない。